

ブラックダイヤモンド

アイスツール取扱説明書

※本製品を使用される前に必ずこの取扱説明書をお読み下さい。

ブラックダイヤモンドのアイスツール

ブラックダイヤモンド・アイスツールはEN13089（European Norm＝ヨーロッパ規格）に準拠しており、登山およびアイス、ミックスクライミング以外には使用できません。

アイスツールの種類

Using Ice Tools

アイスツールの使い方

- 優れたアイスクライミング技術を習得するには十分な経験が必要です。氷の状態を読み、適切なプロテクションポイントを見つける能力は、経験と正しい指導によってしか得られません。どんなに優れたガイドブックも経験の代用にはなりません。アイスクライミング技術を習得するために適切な指導者の下で十分な経験を積んで下さい。
- アイスクライミングでは2本のアイスツールが必要ですが、ツールを落としてしまった時のために最低1本のアイスツールとスベアピック、レンチを携帯して下さい。スベアの携帯はアイスクライミングのリスクを減らす上での基本事項です。
- いくつかのモデルにはスライダリーシュが付属しています。スライダリーシュはスライド式の金属チューブで締め具合を調整できるリーシュで、しっかりと手首を固定でき、素速く簡単に調整することができます。スライダリーシュはシャフトが長い縦走用アックスとの組み合わせが最適ですが、テクニカルアックスにも適しています。プロテクションセット時やアックスを使わないクライミング時は、アックスを手首にぶら下げておくことができます。スライダリーシュは85cmまでのアックスに使用できます。
- リーシュを使用する前後に必ず点検を行って下さい。リーシュに以下のような症状が見られる場合、使用を止めて破棄して下さい。

- ◆バックルにひびが入ったり曲がっている場合
- ◆ウェビングに裂け目や穴が見られる場合
- ◆ウェビングが焼けたり焦げたり溶けたりしている場合
- ◆ウェビングの繊維がほつれたり、ひどい摩耗が見られる場合
- ◆バータックが擦り切れたり、ほつれたりしている場合
- ◆ウェビングが紫外線によって色褪せている場合
- ・ウェビングを縫ったり縫い直したり、焼いたりしないで下さい(リーシュ長を調整した後に末端を焼く時を除きます)。またほつれた縫い目を焼きつぶさないで下さい。リーシュが傷んだらすぐに使用を止めて下さい。処分するときは再利用を防ぐためにウェビングを切断して破棄して下さい。
- ※リーシュは使っているうちに次第にけば立ってきます。多少のけば立ちは使用に差し支えありませんが、ウェビングが溶けたり裂けたりひどく摩耗している時は使用を止めて破棄して下さい。

Limitations of Ice Tools

アイスツールの限界

- アイスツールには高い剛性がありますが、破損しない訳ではありません。アイスツールを構成するどのパーツにも破損する可能性があります。アイスツールのシャフトは、縦方向に鉛直の力を掛けた時に最も強度を発揮します。シャフトに横方向やねじれの力を加えると強度の低下や破損を招きますので、そのような荷重は避けて下さい。
- ・ピック、アッズ、ハンマーをクラックに打ち込んだ状態で強く捻ると破損する可能性があります。ドライツールینگではトルキングと呼ばれるテクニックですが、この場合は破損しない程度にトルクの力を加減して下さい。
- ・シャフトに対して強い横方向の力やねじりの力を掛けると破損する可能性があります。
- ・適切に使用していてもピックはいつかは折れてしまいます。必ずスベアを携帯して下さい。
- ・ルート上で落としてしまったアイスツールは破損したり、目に見えない深刻な内部ダメージを受けてしまいます。落としてしまったアイスツールは再度使用しないで下さい。
- ・アイスツールをビレイ、ラッペルアンカーとして使用しないで下さい。アイスツールには体重を支える強度しかありません。
- ・アイスツールを使ってクランボンに付着した雪を落とす時は、クランボンの爪に当たらないように注意して下さい。特にカーボンファイバーシャフトは、クランボンの爪等に当てると穴が開いてしまい、強度低下の原因になります。カーボンファイバーに限らずシャフトで叩くのではなくピック、アッズ、ハンマーで叩くのがベターです。またクランボンの爪ではなく、ブーツの側面を叩くことをお奨めします。
- ・アイスクライミングでの使用はアイスツールにとって非常に過酷なので、通常の使い方をしても徐々に傷んできます。

Components

オプション(別売)パーツについて

※**ブラックダイヤモンド・アイスツールには純正のオプションパーツしか取り付けできません。**

- ・ブラックダイヤモンド・アイスツールには、ピック、アッズ、ハンマーが交換できるモジュラータイプ、ピックのみが交換できるセミモジュラータイプ、いずれも交換できない登山用タイプの3種類があります。
- ・オプションピックは、モジュラー、セミモジュラータイプのアイスツール全てに取り付けできます。
- ・オプションハンマー&アッズは、ヘッド分割式のアイスツールに取り付けできます。ヘッド形状はモデルによって異なりますので、モジュラーパーツを購入する際はご自分のモデル専用のパーツをお選び下さい。
- ・ハイパーアンドロイドリーシュを除くオプションリーシュは、全てのブラックダイヤモンド・アイスツールに取り付けできます。特にスライダリーシュとロックダウンリーシュは登山用モデルに適しています。

Care and Maintenance

取り扱いと手入れ

- ・アイスツールの取り扱いには十分な注意を払って下さい。ピック、アッズ、ハンマーの取り付けが甘いまま使用すると危険な上、ヘッドの取り付け部分にダメージを与えてしまいます。モジュラータイプもしくはセミモジュラータイプのアイスツールを使用する時は全ての取り付けボルトをしっかりと締めつけて下さい。ボルトに緩みがないことを使用前に確認し、使用中もチェックを怠らないでください。ボルトの締め付けには適合サイズのレンチかスベアピックを使用して下さい。ボルトを締めすぎたり斜めに通すとネジ山をなめてしまいますので止めて下さい。
- ・効果的な打ち込みのためにピックとスパイクを鋭く保って下さい。研ぐ時は鉄工用のヤスリを使って手で研いで下さい。断面が長方形をしたヤスリと呼ばれるものを使い、粗さは細目を選んで下さい。グラインダーは焼きが戻り、摩耗が早くなったり曲がりやすくなりますので使用しないで下さい。ピック、スパイクを研ぐ以外のいかなる改造もアイスツールに加えないで下さい。持ち運びの時はピック、アッズ、スパイクにプロテクターを被せて保護して下さい。

アジャスタブルグリップ

Adjustable Grip

アジャスタブルクリップ(イラスト参照)

一部のモデルには、グリップ長を調節できるアジャスタブルグリップを採用しています。ボルトとボンメル(柄頭)を一旦シャフトから取り外し、手の長さに合うようにスペーサーの数を調整して下さい。スペーサーは6mmサイズ1個と3mmサイズ2個が付属しています。ボンメル取り付け部分の強度が落ちますので、これ以上の数のスペーサーは追加しないで下さい。スペーサーの数を決めたらボンメルをシャフトに戻し、ボルトでしっかりと締めて下さい。
※**キットに付属している数以上のスペーサーを追加しないで下さい。またスペーサーを改造しないで下さい。**

スペーサーの取り付け

Storage

保管

- ・アイスツールを使用した後は完全に乾燥させてから、ストーブ等の熱源から離れた乾燥した場所に保管して下さい。
- ・錆を防ぐために全ての金属パーツにCRC5-56等の防錆潤滑剤を塗布して下さい。シーズンが終わり長期保管する場合はCRC6-66等の防錆効果が長持ちするタイプをお奨めします。
- ・バッテリー液、溶剤など腐食物質を近づけないで下さい。

点検のやり方

Inspection

点検

- アイスツールの使用前後にダメージがないか点検して下さい。以下のような異常がみられた場合、直ちに使用を止めて下さい。
 - ・シャフトに曲がり、クラック、へこみがみられる場合
 - ・ヘッドに曲がり、クラック、へこみ、がたつきがみられる場合
 - ・ヘッドやスパイクを取り付けているリベットにがたつきがみられる場合
 - ・スパイクにまがり、がたつき、クラックがみられる場合
 - ・ピックに曲がり、クラック、変形がみられる場合
 - ・ピックの歯が欠けたりひどく摩耗している場合
 - ・モジュラーハンマー、アッズに曲がり、クラック、変形が見られる場合

Wear and Tear

アイスツールの寿命

アイスツール本体とパーツに、明確なダメージではなくとも傷みが見られる場合は寿命が近づいている証拠です。ミックスクライミングでの使用はアイス&スノークライミングよりも早くアイスツールを消耗します。岩を叩いた時の鋭い衝撃は、目に見えなくてもアイスツール本体とパーツに大きなダメージを与えるからです。アイスツールが健全な状態にあることはとても大切です。アイスツールの信頼性に不安がある場合は、使用を止めて新品に買い換えて下さい。破棄する時は再利用されないように破壊して下さい。

Markings

マーキングの意味

製品に刻印されているマーキングには次のような意味があります。

- ・**ブラックダイヤモンド**：製造メーカー
- ・**USA**：製造メーカーの所在している国
- ・**デートコード**：1094という数字の場合、製品が2001年の94日目に製造されたことを示しています。
- ・**CE0639**：CEに適合していることを示すマークで、ブラックダイヤモンド社と製品がパーソナル・プロテクティブ・エイクPMENT指令(89/686/EEC)に準拠していることを示しています。またブラックダイヤモンド社はISO9001認証企業です。品質管理システムは認定機関により検査、認定され、認定番号は0639です。ブラックダイヤモンド社のPPE製品は認定機関により検査、認定され、認定番号は0082です。
- ・**特許ナンバー**：ブラックダイヤモンド社のアイスツールは米国で下記特許を取得しています。
 - #5,768,727、#5,425,176、#5,996,235
- ・**T**：製品がタイプT(急傾斜の氷を登るために設計されたアイスツール)であることを示します。タイプTのピックは高い強度があり、タイプBよりも頑丈に作られています。
- ・**B**：製品がタイプB(テクニカルモデルではないアイスツール)であることを示します。タイプBのピックは強度的には急傾斜の氷を登るのには適しません。タイプBピックはクライミング性能を高めるために先端部分を薄くしてありますが、硬い氷に使用すると高い確率で曲がったり折れたりします。急傾斜の氷でタイプBピックを使用する場合は、常に点検を怠らないで下さい。

<div>⚠ 警告</div>
ここに示した警告を守らなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があります。本製品は登山およびアイス・ミックスクライミング以外の用途に使用できません。登山およびアイス・ミックスクライミングは危険を伴う行為で、その行為における行動と決断は本人の責任によるものです。本製品を使用する全ての方は本製品の性能と限界を熟知し、正しく使用するために適切な指導者から技術を学んで下さい。本製品を破棄する場合は再利用されないように破壊して下さい。

ロスターrowのロゴ

<p>ブラックダイヤモンド日本総代理店</p> <p>株式会社ロスターow</p> 〒350-2213 埼玉県鶴ヶ島市御折1386-6
TEL：049-271-7113(ユーザーサポート)
e-mail：info@lostarrow.co.jp
www.lostarrow.co.jp
REV：04/10